

平成 19 年(2007 年)2月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書(2日目)

平成 19 年 3 月 1 日(木)

※1人当たり 15 分間(答弁を除く)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	山川 典二 (自民・無所属 連合)	1 教育行政について	<p>2010 年 8 月全国高校総体(インターハイ)沖縄大会が初めて開催される。全国一巡の最後の大会で 27 市町村を会場に 29 競技 33 種目が実施される。2005 年の千葉総体には選手、監督、コーチ、大会関係者など約 6 万 2,000 人(うち県外関係者約 3 万 4,000 人)が参加し、観客延べ人数は約 65 万人に上がっており、沖縄総体でも同規模かそれ以上の参加者が見込まれている</p> <p>県の教育関係者や高体連などスポーツ関係者は「海邦国体(1987 年)以来の全国規模の大会で、選手だけでなく、県民に特に青少年に夢と希望を与えてくれる」と期待している。那覇市では、バレーボール(女子)、柔道、弓道、テニス、なぎなた、水泳(競泳、飛び込み)の 6 競技 7 種目の開催が予定されており、平成 19 年度施政方針の中でも明確に織り込まれている</p> <p>(1) 全国高校総体に対する本市の取り組み</p> <p>(2) 3 年後の全国高校総体開催にあたり、市内小中学校や各競技団体との連携が必要だと思うが、具体的にどう取り組み、実践していくのか見解を伺う</p> <p>(3) 翁長市政のテーマである「市民との協働」で、全国高校総体をどのように位置づけていくのか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		2 環境行政について	<p>(1) 経済産業省は、平成18年度地域省エネ型リユース促進事業(平成18年10月～平成19年3月)「泡盛びんの地域リユースモデル実証事業」について伺う</p> <p>① 那覇市はこの事業を実施中だが、本事業の内容と目的は何か</p> <p>② 現時点までの実証実験の経過説明を求める</p> <p>③ 本事業を受けて新年度以降、本市はどう取り組んでいくのか伺う</p> <p>(2) 「地球温暖化」や「温暖化現象」等の「温暖」は本来「心温まる話」とか「ぽかぽか暖かい陽気」とか良い言葉として使用されるものである</p> <p>ブラジルで開催された世界初の環境国際会議の際、「global warming」を「地球温暖化」と翻訳し、日本のマスコミにそのまま取り上げられ独り歩きして今日まで表現されてきた。正しい翻訳は「高温化」であった。したがって「地球高温化」、「高温化現象」として表現されるべきである</p> <p>そこで、本市が全国に先駆けて「温暖」を「高温」に改め、使用し発信することが重要だと思うが、当局の見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成19年3月1日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	仲村 家治 (自民・無所属 連合)	1 施政方針について	<p>(1) 行財政基盤、執行体制の強化について 新たに6部局課室が昇格、新設するとの方針が示された。その必要性と意義について問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ① こどもみらい局から部への昇格 ② 健康保険局の新設 ③ 同局に医療制度改革推進課の新設 ④ 市民協働推進課の新設 ⑤ 総合青少年課の新設 ⑥ 新庁舎建設準備室の新設 <p>(2) 執行体制の強化見直しの観点から提案する 教育委員会は、学校教育部と生涯学習部で構成されている。昨今の教育関連の諸課題や重責を考えた時に、教育委員会から「生涯学習部門」を独立させて、総合的な執行体制を行う視点から、生涯学習部門を市長部局へ移して、教育委員会は、教育委員や教育長が学校教育に専念する体制を考える時期であると思うが、見解を伺う</p>

個人質問（2日目） 平成19年3月1日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	宮里 光雄 (自民・無所属 連合)	<p>1 市税の収納 状況について</p> <p>2 福祉行政に ついて</p> <p>3 教育行政に ついて</p> <p>4 防災行政に ついて</p>	<p>(1) 本市の市税の総額(収入済額・不納欠損額・滞納額・還付未済額)を平成15年・16年・17年の3年度の実績を示し、収入状況を説明願う</p> <p>(2) 収納率向上の手法として滞納徴収の民間委託は可能であるか、当局の見解を伺う</p> <p>公の施設及び民間の施設(大規模商業施設等)において、障がい者用駐車スペースに一般車両が駐車し、本来の設置意義がないがしろにされているとの声があるが、当局は現状をどのように把握しているか見解を伺う</p> <p>(1) 学校給食が原因による食物アレルギー事故の発生について</p> <p>① 過去3年間(平成15年・16年・17年)の状況を説明願う</p> <p>② 本市はどのような対策をしているか伺う</p> <p>(2) 去る2月25日中教審の分科会は教員免許を10年更新に改める等、いわゆる教育改革2法案について大筋合意したとの報道があったが、本件に関する当局の見解を伺う</p> <p>(1) 「災害時における物資の供給に関する協定書(案)」締結の動きがあるようだが、その要旨と災害対策においてどのような効果が期待できるか、当局の見解を伺う</p> <p>(2) 災害別対応マニュアルや防災マップの整備が必要であると考えますが、当局の見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、病院事業管理者、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成19年3月1日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	湧川 朝涉 (日本共産党)	<p>1 こども行政について</p> <p>2 保育行政について</p> <p>3 小祿支所の建て替えについて</p> <p>4 介護保険について</p>	<p>母子家庭の6割が貧困世帯と言われている 那覇市の母子家庭の世帯率、平均年収、貧困率は幾らか。当局の見解を問う</p> <p>2008年4月から母子家庭の児童扶養手当が減額される。那覇市の母子家庭で、児童扶養手当を受け取っている割合、減額される金額は幾らか、児童扶養手当の減額の中止を国に緊急に求めるべきである。当局の見解を問う</p> <p>那覇市の待機児童と潜在的待機児童の推移について</p> <p>新・新エンゼルプラン(待機児童ゼロ作戦)を実現するためには、あと何園必要か</p> <p>子供の保育を豊かにするためにも、公立保育所の民間払い下げではなく、認可化移行を抜本的に推進するとともに、認可外保育園の給食への補助を行うべきである。当局の見解と対応を問う</p> <p>補修工事では、安全確保が不十分である。早急な建て替えが必要である。当局の見解と対応を問う</p> <p>(1) 車いすや介護電動ベッド等の福祉用具の利用制限の緩和について。当局の見解と対応を問う</p> <p>(2) 介護予防プラン作成の06年度実績と07年度予算の乖離について</p> <p>(3) 07年度の介護予防プラン作成の目標と体制について。当局の見解と対応を問う</p> <p>(4) 介護予防プランを作成する職員の身分について。当局の見解と対応を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 旭橋駅再開発事業への補助金に起債を充てることについて</p>	<p>(1) 地方財政法とは何か。地方財政法第1条の趣旨は何か。当局の見解を問う</p> <p>(2) 栗東市に対する大津地裁での判決は、「財源に地方債を充てるかどうかの判断は、地方財政法第5条の趣旨から市に裁量権はない」「地方債を限定的に許容した地方財政法の趣旨に違反する」とした。当局の見解を問う</p> <p>(3) 地方財政法第5条1号その他地方公共団体の行う企業とは何か 旭橋駅再開発事業を行う民間会社は、地方公共団体の行う企業いわゆる公営企業なのか。当局の見解を問う</p> <p>(4) 地方財政法第5条5号の趣旨は何か。当局の見解を問う</p> <p>(5) 那覇市が、民間会社が行う旭橋駅再開発事業への補助金に起債を充てることは、地方財政法第5条の趣旨から違法である。当局の見解を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成19年3月1日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	渡久地 政作 (自民・無所属 連合)	<p>1 酒気帯び運転防止対策について</p> <p>2 子育て支援センターについて</p>	<p>(1) 防止対策として、どのような取り組みを行っているのか伺う</p> <p>(2) 公用車の運転について、始業時にチェックのための検知器の導入の検討は</p> <p>(3) 職員の交通違反・事故歴の状況把握は、どのようになっているか</p> <p>(1) 国の施策は、どのようになっているか。その施策に対し那覇市としての取り組みはどうか</p> <p>(2) 那覇市地域子育て支援センターの設置状況また、設置目的と意義について</p> <p>(3) 那覇市地域子育て支援センターの利用状況の把握は、どのようになっているのか</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成19年3月1日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	糸数 昌洋 (公明党)	<p>1 市政情報の発信について</p> <p>2 自治会の活性化について</p> <p>3 小規模団地の建替事業について</p>	<p>市政情報をメールで届ける公式メールマガジン「情報パックなはメール」の配信サービスが明日（3月2日）よりスタートする。市内外から本市の情報に手軽にアクセスできるツールとして広く普及することを期待したい。サービスの概要と普及に向けた取り組み及び目標について伺う</p> <p>本市は、市民との協働の大きな役割を担う自治会の活性化に粘り強く取り組んできているが、特に活動が低迷している自治会の活性化について伺う</p> <p>(1) 活動が低迷している自治会の状況把握について (定期総会を開催できない自治会の割合、完全に休眠している自治会の割合など)</p> <p>(2) 低迷化の原因についての認識を伺う</p> <p>(3) 活性化に向けた当局の取り組みとかかわり方について</p> <p>小規模団地の建替事業については、他団地との連携・統廃合を図るとのことだが、特に老朽化の著しい樋川市営住宅及び若松市営住宅の建替事業について伺う</p> <p>(1) 2団地の老朽化の現状を、どのように認識しているか</p> <p>(2) 今後の事業の具体的な方向性について</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 道路・交通行政について	<p>(1) 道路照明灯の適切な管理について 裁判所通りや一銀通りの久茂地小学校前など、街路樹の生長に伴い照明効果が著しく低下している道路灯について、樹木の剪定では不十分と思われるが、対応策を伺う</p> <p>(2) 開南せせらぎ通りについて、整備の現状と今後の方向性について伺う</p> <p>(3) 古波蔵交差点における歩行者対策について、南部国道事務所への要請を含め、その後の進捗状況について伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成19年3月1日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	唐真弘安 (大志の会)	<p>1 教育行政について</p> <p>2 農水行政 (日豪EPA交渉)について</p>	<p>昨年、平成18年6月定例会において、本員は文字・活字文化振興法が成立した時代的背景を説明し、那覇市の小学校教育に書道教育の特区の認定を受け、小学1年、2年に書道科を立ち上げることを提言した</p> <p>答弁で桃原学校教育部長は次のように発言している。「議員ご提案の書道教育特区認定に関しては、学習指導要領や学校現場の状況を踏まえ、先進市の事例、実践例も参考にしながら今後、調査研究を行っていきたいと考えております。」この答弁から8ヶ月経過しているが、教育委員会における書道特区実現への努力の経過報告を願う</p> <p>昨年12月、日豪両国首脳の話電話会談にて、2007年からEPA交渉を開始することで合意したという外務省の報道がある。この日豪EPA交渉は本県農業においても特に、さとうきびに深刻な影響が懸念されている</p> <p>時を同じくして、県内農業団体より本市議会及び市当局に対して2月14日付け、日豪EPA交渉に関する陳情がなされている。この日豪EPA交渉について、市当局の見解と今後の対応について答弁を願う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 福祉行政について	<p>行政用語の中で「障害者」と言う表現は速やかに廃止し、「障がい者」とすべきと提言する</p> <p>なぜなら、害という字が災害、損害、公害、害悪、害毒、害意、害者、害虫、害鳥、傷害、自害、殺害、等々ほかにも出てくると思うが(紙面の都合でこの程度にしておくが)、害という字があまりにも良い意味で使われていない事実にかんがみて、一点の染みも一点の曇りもない障がい者の立場に思いを致すと、やはり冷害等の害は避けるべきではないか。これが真のやさしさではないか。当局の答弁を求める</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成19年3月1日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	大浜 安史 (公明党)	<p>1 施政方針について</p> <p>2 E S C O 事業について</p> <p>3 道路行政について</p> <p>4 大名市営団地の駐車場について</p>	<p>(1) 「こどもみらい基金」について</p> <p>① 施政方針に「子どもを安心して産み・育てる環境整備に強力的に取り組めます。また、『こどもみらい基金』を創設し」とあります。基金の内容と活用方法について伺う</p> <p>② 平成19年度全国児童館・児童クラブ沖縄大会が、那覇市で11月に開催される。大会への協力・支援策として助成することは可能なのか伺う</p> <p>(2) 「エコ・アクション21」について</p> <p>施政方針に、中小企業への環境経営システム「エコ・アクション21」の認証取得の支援とあるが、内容と今後の取り組みについて伺う</p> <p>平成18年9月定例会でE S C O事業導入について伺ったが、市立病院への調査結果はどうなったのか伺う</p> <p>首里鳥堀町にある、弁ヶ岳公園の中を通る生活道路が地盤沈下している。地域住民から早急に道路を整備してもらいたいとの声があるが、道路整備について伺う</p> <p>大名市営団地は、自治会で平成6年～平成18年(12年間)にかけて、駐車場631台分を整備している</p> <p>今回、議案第3号「那覇市行政財産使用料条例の一部を改正する条例制定」によって、借地料が上がることになり、自治会としての駐車場の運営が厳しくなるとの声があるが、どのように考えているのか伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長</p>

個人質問（2日目） 平成19年3月1日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	渡久地 修 (日本共産党)	1 復帰に伴う市職員の大量採用問題、退職金問題について	<p>米軍占領の27年間の行政空白を埋めるための、復帰に伴う市職員の大量採用問題と、その退職金について国の支援を求めることについて</p> <p>(1) 退職金の状況について問う</p> <p>(2)</p> <p>① 戦後27年間に及ぶ米軍占領で、本土から切り離されていたことによる、法制度、医療、福祉、教育、暮らしなど、どのような格差が当時あったか</p> <p>② 27年間の米軍占領に終止符をうち、復帰により、その格差を埋めるために、どれだけの体制強化と職員の増が必要になったか その増員が、たまたま団塊の世代の採用と重なった分があると思うが見解を問う</p> <p>③ また、その時期に大量採用した職員の退職については、米軍占領の27年間がなければ、他府県と同様、戦後の地方自治制度の発足当時からの計画的な採用などが行われていたものであり、沖縄の大量退職者の問題は、米軍の27年間の占領等、特殊的な要因も包含している これらの部分に関しては、沖縄の特殊事情によるものであり、国の特別な財政支援を那覇市長が先頭に立って国に要請を行うべきであると思うが、見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>2 財政問題について</p> <p>3 モノレールと市内の公共施設の無料化・割引制度について</p>	<p>(1) 2006年度(平成18年度)の財政調整基金と減債基金の合計は幾らか。10年前の1997年度及び市長誕生年度の2000年度との額・比率の比較を問う</p> <p>(2) この間、市民の暮らし、福祉、教育の予算が削減されているが、どのような方針をとってきたのか</p> <p>(3) 新年度予算案では、小学校・中学校の学校管理運営費及び教材費が大幅に削減されているが、5年前との総額、学校ごとの額(小中学校の平均)、児童生徒1人当たりの額の比較と、その影響について問う</p> <p>(1) 那覇市で高齢者の1人当たりの年間医療費を長野市並みに引き下げることができれば、国、県、市及び合計で幾らの医療費の削減になるか</p> <p>(2) 2005年12月定例会で、モノレールと市内公共施設の無料化、割引制度を提案してきたが、これまでの検討など具体的な経緯と、今回の割引制度の目的と実施時期、施設と割引額について問う</p> <p>また、モノレールと首里城の割引制度の実現に再度要請するなど、全力をあげるべきである。その際、モノレールの場合は、割引額の負担について、市と会社で折半するのが妥当だと思うが見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 公園行政について	<p>(1) 末吉公園について</p> <p>① 多目的広場へのトイレ、舞台の設置と、グラウンドの整備に自治会や利用者の皆さんと要請してきたが、計画について伺う また、北側のゲートボール場、グラウンドゴルフ場等の整備は、前回の質問への答弁では、すでに完成しているはずではなかったか。どのような進展状況なのか</p> <p>② 公園に接する平良町側の森が、開発行為等により、公園の景観上好ましくない状況になっているのではないか。公園区域の拡大が必要ではないか。見解を問う</p> <p>(2) 寒川緑地公園について</p> <p>周辺住民から、公園への出入り口の確保や、車いすや救急車が入れるような里道の整備の要望があがっている。寒川ヒージャーや隣接の那覇市有地、里道も含めた一体的な整備が必要と思うが見解を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長</p>